

1. 事業別助成金総括表

(単位：千円)

		平成15年度助成金		平成16年度助成金 (計画)
共同助成事業 (P.N. ファンド)	(国内)			
	活動助成	8件	6,600	
	調査研究助成	13件	11,690	
	(海外)			
	調査研究助成	3件	3,710	
	小 計	24件	22,000	25,000
自主助成事業	(国内)			
	活動助成	6件	5,490	
	調査研究助成	* 9件	18,500	
	(海外)			
	調査研究助成	4件	2,000	
	小 計	19件	25,990	25,000
	合 計	43件	47,990	50,000

* 創立10周年特別助成事業 5件 14,500千円を含む。

2. 平成15年度(2003年)第14期助成金交付一覧

国内調査研究助成

単位:千円

No.	研究テーマ	助成先	代表者	助成額	
1	南大東島に隔離分布するダイトウコノハズク個体群の保全に関する研究	ダイトウコノハズク保全研究グループ	高木 昌興(大阪市立大学大学院理学研究科 講師)	1,230	
2	父島のオガサワラオオコウモリの保全生態学的研究	オガサワラオオコウモリ研究グループ	稲葉 慎(小笠原自然文化研究所主任研究員)	830	
3	世界最南限のイワナ個体群“キリクチ”の保全生態学的研究	淡水生物研究会	渡辺 勝敏(京都大学大学院 理学研究科 助教授)	800	
4	スキー場を集水域に持つ河川に見られる窒素汚染	長良川・溪流の保全を考える会	村上 哲生(名古屋女子大学 教授)	800	
5	亀岡産アユモドキの生活史とハビタット利用に関する研究 一水田水域生態系のシンボルフィッシュ	亀岡・人と自然研究会	岩田 明久(京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 助教授)	900	
6	屋久島原生自然環境保全地域におけるスギ林の20年間の森林動態	ヤクスギ原生林研究グループ	武生 雅明(東京農業大学地域環境科学部 講師)	800	
7	関東周辺のアサギマツ個体群の現状とフェノロジー比較	房総のアサギマツ研究グループ	尾崎 煙雄(千葉県立中央博物館研究員)	900	
8	西表島浦内川河口域の生物多様性と伝統的自然資源利用の総合調査	西表島浦内川流域研究会	松本 千枝子(西表島自然史研究会 事務局長)	1,000	
9	西表島における亜熱帯林の再生動態と種多様性保全に関する基礎的研究	南西諸島亜熱帯林研究グループ	相場 慎一郎(鹿児島大学理学部 助手)	530	
10	エゾシカの餌選択とミネラル要求性	道東エゾシカ研究グループ	北原 理作(東京農業大学生物産学学部植物資源研究室 副手)	850	
11	ツキノワグマ四国幡多地域個体群の生息状況把握	特定非営利活動法人 四国自然史科学研究センター	町田 吉彦(四国自然史科学研究センター センター長)	890	
12	金沢城公園における樹木伐採等の攪乱が動植物と生態系に及ぼしつつある影響	金沢城公園生態系保全研究会	中村 浩二(金沢大学自然計測応用研究センター)	1,000	
13	炭素・窒素安定同位体を用いたツキノワグマの「駆除」個体の生息環境履歴の解明	信州ツキノワグマ研究会	林 秀剛(信州ツキノワグマ研究会 代表)	1,160	
※	10周年特別助成	有明海・諫早湾の底層環境の変化とそれが底棲生物に与える影響	有明海・諫早湾底層環境調査研究グループ	松岡 数充(長崎大学教授)	2,500
※		人間活動による有明海のリン・窒素・珪素環境の変化	有明海低次生態系モデリンググループ	柳 哲雄(九州大学教授)	3,000
※		諫早湾干拓事業に伴う「有明海異変」に関する保全生態学的研究	諫早湾保全生態学研究グループ	東 幹夫(長崎大学教授)	4,000
※		有明海北部における表層流の動向と赤潮発生の関係について	有明海表層流観測グループ	高橋 徹(熊本保健科学大学教授)	4,000
※		三宅島の噴火被害地における生態系の保護と復元に向けた植生学的基礎研究(5年継続)	三宅島自然研究グループ	上条 隆志(筑波大学農林学系 講師)	1,000
※	海辺の生態系とくに干潟・藻場の保全	(財)日本自然保護協会	田畑 貞寿(財)日本自然保護協会 理事長	2,000	
※	泡瀬における海草移植の調査	泡瀬干潟を守る連絡会	前川 盛治(泡瀬干潟を守る連絡会 事務局長)	500	
※	泡瀬干潟自然環境調査	(財)日本自然保護協会	田畑 貞寿(財)日本自然保護協会 理事長	500	
※	熊本県球磨川・川辺川チヌシノリ緊急調査	(財)日本自然保護協会	田畑 貞寿(財)日本自然保護協会 理事長	1,000	
小計				22件	30,190
国内活動助成					
1	「蒲生干潟の明日を考える集い」の開催と鳥類生息調査報告書の出版	蒲生を守る会	佐場野 裕(聖和学園高等学校 教諭)	650	
2	三浦半島(神奈川県)におけるトウキョウサンショウウオ遺伝子の多様性の保護	三浦半島自然誌研究会	金田 正人(三浦半島自然誌研究会 事務局)	700	
3	普天間飛行場代替施設(辺野古沖軍民共用空港)建設計画に係わる市民からの環境影響評価	市民アセスなご	浦島 悦子	1,100	
4	宮崎県内におけるイヌワシ調査と保護活動	NPO法人ひむかり山自然塾	岩切 重人(NPO法人ひむかり山塾 理事長)	1,000	
5	絶滅危惧種ヒヌマイトンの生態学的研究と観察会による保全活動	自然史教育談話会	渡辺 守(筑波大学生物科学系 教授)	1,000	

国内活動助成

単位:千円

No.	研究テーマ	助成先	代表者	助成額
6	かながわ野生化アライグマの分布調査と普及啓発パンフレットの作成	かながわ野生動物サポートネットワーク アライグマ・プロジェクト	葉山 久世(パウベッククリニック 獣医師)	450
7	ゼニタナゴ保全活動(ゼニタナゴシンポジウム)	ゼニタナゴ研究会	北島 淳也(大阪教育大学小学校 教員養成過程)	700
8	「続 里山の暮らし 土浦市穴塚」の作成	穴塚の自然と歴史の会	及川 ひろみ(穴塚の自然と歴史の会 理事長)	1,000
※	(1)白保海域におけるサンゴ礁モニタリング調査 (2)北方4島における自然保護活動支援 (3)ズグロカモメに関する国内調査報告および国際調査プログラムの作成	(財)世界自然保護基金ジャパン	大内 照之(財)世界自然保護基金 会長	2,500
※	「救え! 東アジアの湿地と干潟」シンポジウムと演劇を通して東アジアの保全をアピールする	東京ウェットランドウィーク実行委員会	辻 淳夫(東京ウェットランドウィーク実行委員会 代表)	1,000
※	「緑と平和の国際公園:ユートピア実現へのあらたな試み」	緑と平和の国際公園シンポジウム実行委員会	市田則孝(バードライフ・アジア)	1,000
※	陸・海一帯の白保サンゴ礁生態系の保全と新石垣空港建設計画の見直しをアピールするパンフレットを発行する。	八重山・白保の海を守る会	生島 融	990
			小計	14件 12,090

海外調査研究助成

No.	研究テーマ	所属機関	代表者・[]内推薦者	助成額
1	中国海南島におけるカワウソ2種の保全生物学的研究	中国海南師範学院 海南野生動物保護管理研究センター【中国】	李 玉春 [小金澤正昭 宇都宮大学農学部附属演習林 教授]	1,200
2	インドネシア、パプア州ジャムルスバメディ地域における絶滅に瀕したオサガメ個体群を保護するためのふ化率調査	インドネシアウミガメ研究センター	Mr. Akil Yusuf [菅沼 弘行 エバーラスティング・ネイチャー 会長]	1,350
3	ネパール熱帯域における生物多様性に関する研究	トリブヴァン大学自然史博物館	Keshab Shrestha [渡邊 政俊 竹文化振興協会]	1,160
※	(1) シホテーアリニ山脈森林地帯の開発・保護動向調査 (2) シホテーアリニ山脈の自然保護に向けた先住民NGOへの支援 (3) ロシア・サハリンの自然環境・野生生物保護のための調査及び政策提言活動 (4) 全面改訂版「The Russian Far East」(英文・450頁)2千部の印刷	地球の友(FoE)ジャパン	岡崎 時春(FoE Japan 代表理事)	2,000
			7件	5,710
助成金総額			合計	43件 47,990

(P. N. ファンド助成金額)

24件 22,000

(直接助成金額)

19件 25,990

注: (※) 当基金の自主助成事業